

カラマツ中小径材の流通と利用の実態調査

本県の人工林面積の半分以上を占めているカラマツは、適正な密度管理が必要であり、間伐の促進が強く求められています。しかし、間伐材の利用については、用途も少なく需要も少ない状況です。そこで、カラマツ中小径材の流通と利用の実態と、関係業界の意向を調査しました。

1 調査の方法

市場、加工場とも現地に出向き直接担当者から聞き取りによる調査を行いました。

(1)木材市場4か所を対象に、材の受け入れ先及び販売先ごとの取扱量、取り扱われている素材と曲り材の比率、完満度、長さ、市場価格などについて調査しました。

(2)主にカラマツ中小径材を取り扱っている加工業者6社について、主な施設、従業員数、平均年齢、取扱量、主な製品、販売先などについて調査しました。

(3)木材市場、加工業者に対して今後の経営目標、現在の問題点、講じている対策、要望事項などについて調査しました。

2 調査の結果

(1) 市場関係

ア. 過去3か年のカラマツ中小径材の取扱量は、若干の増加傾向を示していました。受け入れ先では森林組合と素材生産業者からの受け入れがほとんどで、中でも森林組合からが大半を占めています。

イ. カラマツ中小径材は、需要の期間が短く、買い手が少なく価格も安く、取扱いに手間だけ掛り、市場経営からは歓迎されない材です。このため、近年は市場を通さず、山土場で直接取引されるケースも増えてきています。

ウ. 出材された素材の直材と曲り材の比率を、直材比率でみると、80%、65%、55%、40%となっ

ており、市場によって格段の差が見られました。エ. 素材の実態を4m材で見ると完満度は、0.99と高い値を示し、末口と元口の差は平均で3~4cmでした。長さは直・曲り材に関係なく405~408cmに造材されていました。曲りについては、直材で曲りの矢高が1cm前後、曲り材で3~5cmでした。

オ. 素材の市場価格については、どの市場も大差はありませんでした。

表-1 カラマツ材の取扱い実績 単位 m³

	受け入れ					販売				
	受け入れ先	材積			販売先	材積				
		平3	平4	平5		平3	平4	平5		
A 市場	森林組合	1,901	1,743	2,110	森林組合					
	素材生産業者	816	747	907	製材業者	2,309	2,117	2,564		
	営林署 団体				素材生産業者					
	森林所有者				土木建築業者	136	124	151		
	その他				木材業者	272	249	302		
	計	2,717	2,490	3,017	計	2,717	2,490	3,017		
B 市場	受け入れ先	材積			販売先	材積				
		平3	平4	平5		平3	平4	平5		
	森林組合	4,200	2,900	2,600	森林組合	900	850	950		
	素材生産業者	4,400	3,400	3,300	納材業者	7,100	7,700	6,950		
	営林署 団体				建築業者	700	700	600		
	森林所有者 その他				製材業者	800	850	800		
計	8,600	6,300	5,900	計	9,500	10,100	9,300			
C 市場	受け入れ先	材積			販売先	材積				
		平3	平4	平5		平3	平4	平5		
	森林組合	19,500	19,150	19,720	森林組合及び 県内木材業者	17,440	17,080	18,020		
	素材生産業者	7,760	7,520	10,330	地元商社	7,760	5,000	10,330		
	営林署 団体				県内商社	180	370	390		
	森林所有者 その他	3,200	4,780	4,930	県外商社	1,120	1,120	1,180		
計	30,460	31,450	34,980	加工品販売	4,060	5,000	4,340			
				計	30,560	31,090	34,260			
D 市場	受け入れ先	材積			販売先	材積				
		平3	平4	平5		平3	平4	平5		
	森林組合		500	900	製材業者			640		
	素材生産業者		1,300	1,200	土木加工業者			1,460		
	営林署		150	100	その他			100		
	団体・森林所有者 その他									
計		1,950	2,200	計			2,200			

注) B市場の受け入れ材積より販売材積が多いのは市場を通さず売買した材積が含まれているためである。

(2) 加工業者関係

ア. 機械、施設については、送材車付帯鋸盤からチップパー、乾燥機まで多くの機械がありました。これらの機械は最新式のものから古いものまで色々で、中には導入後全く使われていない機械もありました。

イ. 従業員数は4～15人で、平均年齢は55歳前後、若い人でも40歳台でした。今後いかにして従業員を確保するかが大きな問題です。

ウ. カラマツ材の年間加工量は1200～11500㎡と大きな開きがありました。梱包材や壁材等を製材している工場は加工量が少なく、杭材や土木用材を加工している工場は多くなっていました。

製材の歩留まりは65%～74%でした。

エ. 主な製品は杭材がほとんどで、その他土木用材、梱包材、パレット集成材用ラミナ、壁板などでした。

販売先は、製材品は県内でしたが、杭材はほとんどが県外でした。



(杭丸太)



(土木用材)



(板類)



(パレット)

オ. 調査した6社のうち、半数の3社が建築部門をもっていました。

(3) その他

ア. 杭材として需要の多い12cm下の材が年々減少している。

イ. 工法の変遷により土木用材としての需要がなくなってきた。

ウ. 北海道を始めとする他県産材が進出してきた。

表-2 加工業者の実態

区分	A	B	C	D	E	F
主な機械	送材車付帯ノコ盤丸のこ	送材車付帯ノコ盤 テーブル付き帯ノコ盤 皮むき機 選別機 先付機 チップパー 丸ノコ ツインバンドソー 乾燥機	送材車付帯ノコ盤丸ノコ チップパー テーブル付帯ノコ盤	送材車付帯ノコ盤 ツイン丸ノコ 皮むき機 チップパー 乾燥機	送材車付帯ノコ盤 テーブル付帯ノコ盤 チップパー	送材車付帯ノコ盤 テーブル付帯ノコ盤 チップパー 丸ノコ 皮むき機
工場従業員数(事務員は除く)	4人	6人	4人	14人 臨時工2人	15人	9人
平均年齢(推定)	61才	50才	61才	54才	55才	56才
カラマツ材総加工量	1,800㎡	11,500㎡	1,200㎡	3,900㎡	6,600㎡	8,400㎡
主な製品	梱包材	杭材	梱包材	壁板	パレット 土木用材	杭材 土木用材
主な販売先	大手電機メーカー 機械メーカー	土木業者	大手機械メーカー	建材メーカー	団体、食品メーカー、工場	土木業者 建材業者
カラマツ中小径材製材専業兼業の別	カラマツ中小径材専門	カラマツ中小径材専門	カラマツ中小径材専門	カラマツ中小径材専門	外材、カラマツ以外の建築材と兼業	カラマツ中小径材専門(一部外材)
その他	一部他社製品を購入し納入している	建築部門を持っている		建築部門を持っている	建築部門を持っている	

エ. 県内に大量消費される場所が少ない。

3 今後の方向

市場、加工業者を調査した結果から、次のような対策が必要であると考えられました。

- (1)現在北信・中信地域で計画されているような大型の木材消費基地の造成。
- (2)試験研究によるカラマツ中小径材の新用途の開発。
- (3)間伐材の低コスト搬出技術の開発。
- (4)素材市場の経営内容の改善。

(木材部 馬渡)